

News

オープンキャンパス

8月9日(金)に、2019年度神戸大学農学部オープンキャンパスが開催された。本研究室は例年通り農学部棟の教室を貸し切り、来場した高校生や保護者の方に向けてM1の2人が研究室紹介のスライド発表を行った。発表以外の時間は自由にポスターを見てもらい、学生たちが説明を行った。



教室には様々な形の風船で飾り付けられた。膨らませる準備をする竹本孝多(B4、左)と榎田麻里(M1、右)。



スライド発表を行う清水遥河(M1)。立ち見が出るほど人気だった。

今回掲示したポスターはこちら。

- ① 「食べ物」の機能性を追求する
- ① 腸炎抑制効果をもつ食品因子
- ② アレルギー抑制効果をもつ食品因子
- ③ パイナップル由来グルコシルセラミドによる皮膚バリア機能改善効果
- ④ がん抑制効果をもつ食品因子

- ⑤ 肝線維化抑制効果をもつ食品因子
- ⑥ 消化管ホルモン分泌を介した EGCG の生体調節機能
- ⑦ 味覚と栄養状態
- ⑧ 研究の進め方

今年はポスターのデザイン・内容を大幅にリニューアルした。高校生だけでなく保護者も研究内容に興味津々で、たくさんの質問が飛び交っていた。



他の研究室の学生もやってきてポスターに興味深げに見に来てくれた。写真は森田温子(M2、左)と天然有機分子化学研究の森田康明氏(右)の同姓ペア。



高校生にポスター③について説明する清水(M1)とひっそり写真に写り込む竹本(B4、左)。



ポスター②の説明を行う韓露露(M2)。日本語での説明もすっかり慣れたもの。

教室にはポスターの他にも液体窒素の入った細胞用凍結保存容器や位相差顕微鏡など普段実験に使用する器具も展示し、どの

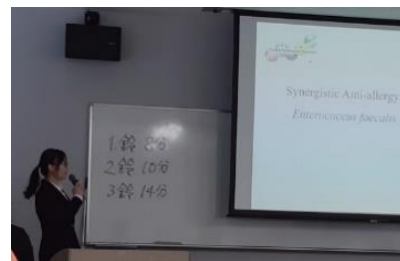
ように実験しているかという説明も行った。

また、受験勉強の仕方や農学部応用生命化学コースの特徴についてもたくさん質問をいただいた。高校生は受験勉強の先にある大学生活や研究室のイメージを持てたのだろうか。

どの時間帯も人の波が途切れることは無く、一日があっという間に終了した。片付けの後はささやかな打ち上げを行い、お盆休みの間のしばしの別れを告げた。

修士論文発表会

8月19日(月)、9月修了予定学生の修士論文発表会が行われた。本研究室からはグローバルマスターコースの韓(M2)が英語で発表を行った。



発表者の中で、唯一のグローバルコースに属する彼女は、もちろん流暢な英語で質疑にも答えていた。



発表が終わり、少しほっとした表情。

【修論タイトル】

韓露露 Synergistic anti-allergy by combination of *Enterococcus faecalis* IC-1 and luteolin.

発表お疲れ様でした！

神戸大学大学院農学研究科 博士前期課程入学試験

8月20日(火)と21日(水)、大学院入試が行われ、本研究室からは竹本(B4)が受験した。研究室内では1人だけの受験生となった彼は、毎日先輩のノートを見て黙々と勉強していた。

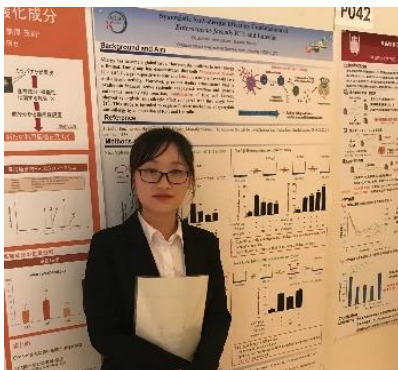
大学院入試は、1日目が筆記試験、2日目は口頭試問という例年通りのスケジュールであった。今年は難しかったという噂だが、勉強の成果は発揮できたのだろうか。来月の合格発表を待つ！



口頭試問を終えた後の1枚。髪もセットし、とてもいい笑顔だ。

日本食品科学工学会 第66回大会

8月29日(木)から31日(土)の3日間、北海道の藤女子大学にて、日本食品科学工学会第66回大会が開催された。本研究室からは韓(M2)が参加し、ポスター発表と口頭発表を行った。



ポスターの前で立つ韓(M2)。ほかにもたくさんの発表者がいたそう。

韓からコメントはこちら。
「たくさんの発表を聞くと、自分はまだまだ足りないという感想もありまし

たが、業界プロの前で自分の研究を発表できたのは自慢です。もちろん、緊張していました。」

卒業生近況報告

8月某日、2015年度に博士課程後期課程を修了した宋苑吟さんから橋本堂史准教授宛に近況報告が届いた。

— ✉ —

皆様、こんにちは。私は2015年に博士課程を卒業した宋です。お元気でしたか？私はおかげで元気ですごしております。

私は韓国に帰って結婚し、もう二人の男の子の母になりました。年子で兄弟なので子育てが心配です。

留学するとき先生方や学生の方から頂いたご親切なこと忘れないです。

韓国に帰る時、研究室の学生から頂いた留学する時の思い出が詰まったアルバム、本当にありがとうございました。大切にします。

私も皆様の消息がとても気になりますね。いつか会える日を楽しみにしております。^^

最後に食品ニュースに私の消息を伝えられる機会をくださった橋本先生に感謝いたします。

— ✉ —

息子さん達の写真もいただいたので紹介させていただきます。



上：李昱珍(Lee Ha Jin)君、1歳半。



下：李瑞珍(Lee Seo Jin)、3ヶ月。

可愛らしい息子さん達のお写真と近況報告をありがとうございました。ぜひ、研究室にも遊びにきてくださいね！

フリートークスペース

恒例となった本コーナー、今回は今年から本研究室のメンバーとなった植野晃君(B4)です。非常に多趣味でいつも愉快的な彼ですが、何を語ってくれるのでしょうか。それでは植野君のフリートークをどうぞ。

夏ですね。今回は私の趣味である虫採りについて紹介いたします。

皆さんも子供の頃、カブトムシやクワガタに夢中になった経験があるのではないのでしょうか。私もそんな少年の一人でした。

大学生になり神戸の街にやってきた私は、バンドに打ち込み、酒を飲んで騒ぎ、自由な都会での暮らしを謳歌しておりました。そんな夏のある日、飽和した毎日の中でふと満たされないもの、くすぶる情熱のようなものを感じ夜の山へ。

泥まみれになり、気持ちの悪い羽虫にたかられ、体中バキバキになるまで歩き回り、そして遂に、黒く輝く大きなクワガタを見つけました。その喜びは、人に勝ったとか、認められたとか、大人になる上で身に着けた物差しを全て忘れた本能的な、自分の底のプリアな興奮のようで、なんとも満ち足りた清い気分のようにでした。

皆さん、エンタメの溢れる現代だからこそ一度童心にかえて、夏の山に宝探しに行ってみてはいかがでしょうか。



小説のようなお洒落な文章ですね、写真もありがとうございました！ザ・男の子という感じでいいですね～、私は虫取りはゲームでしかしたことが無いのですが、山に分け入って探すのも楽しそうです。皆様も機会があればぜひ！

論文・学会発表

学会発表)

日本食品科学工学会第66回大会(2019年8月29日(木)～31日(日)・藤女子大学北16条キャンパス)

○ Lulu Han, Iwao Sakane, Masashi Mizuno. Synergistic anti-allergic effect by combination of *Enterococcus Fecalis* IC-1(IC-1) and luteolin. 大会講演集p109.

編集後記

毎年オープンキャンパスで高校生と話すたびに、自分の高校生時代が遠ざかっていることを実感し、体感との違いに驚きます。センター試験の制度が無くなるとい

うのは衝撃でした。お盆休みは私も久々に中高時代の友人や従姉妹に会い、リフレッシュしました。また気合を入れて研究に取り組みたいと思います。

丸岡 祐子(M2)